

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

臨時号 令和3(2021)年4月20日発行



新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にあつて、子どもたちは様々な影響を受け続けています。また、年度切替えに伴う環境の変化により、新たな不安やストレスが生じていることも考えられます。このような状況下だからこそ、より一層一人一人の子どもを理解しようとする必要があります。

【新型コロナウイルス感染症による影響】

「いつまでがまんすればいいの…？」
「感染したらいじめられるかも…？」
「遠足は行けるのかな…？」 等

不安やストレスの蓄積



【年度切替えに伴う環境の変化】

「友達ができるか心配…」
「勉強が難しくなった…」
「学校が遠くなった…」 等

新たな不安やストレス

子どもの不安やストレスをしっかりと捉えるために

○ 子どもの様子を「よくみる」

- ・マスクで表情が分かりにくいいため、子どもの態度、行動等をよくみましょう。
 - ※視線、姿勢、服装、頭髮、歩き方、持ち物 等
- ・授業中だけでなく、子どもの自然な姿が表れやすい場面での様子をよくみましょう。
 - ※登下校時、朝の会・帰りの会、休み時間、昼食時、清掃時、部活動時、放課後 等
- ※ 子どもの発するサインを見逃さないようにしましょう。
 - 食欲がない、または食べ過ぎてしまう □ 頭痛や腹痛を訴える
 - 外を眺めるなど、ぼうつとしている □ 手洗いや消毒の回数が極端に多い 等
- ※ サインが出せない子どももいるので、小さな変化にも注意しましょう。

○ 子どもの話を「よくきく」

- ・子どもが安心して話すことができるよう、「うん、うん」とうなずいたり、相づちを打ったりしながら最後まで話をききましょう。
- ・子どもの思いを否定せずに、ありのままの気持ちを受け止めるようにしましょう。

「よくみる」、「よくきく」ことが、子ども理解の第一歩です。

【問合せ先】教育相談部 (Tel 028-665-7211)